

# ALアミロイドーシス形質細胞はNF-kB活性が極めて高く、正常骨髄形質細胞と似ている

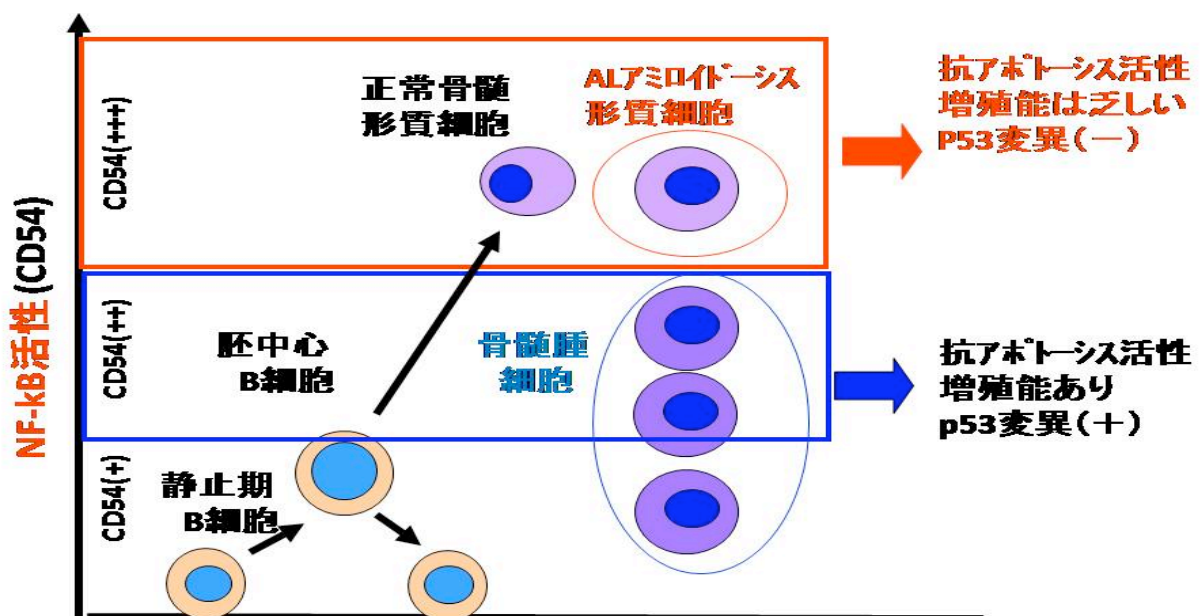
研究分担者: 山口大学医学系研究科 河野道生

図-1

p53 遺伝子 (exon 5, 6, 7, 8) 変異の有無

	CD54(++)	CD54(+++)
ALアミロイドーシス形質細胞	Case 151	no mutation
	Case 152	no mutation
	Case 153	no mutation
	Case 154	no mutation
骨髄腫細胞	Case 201	mutated (exon5, 13157: A→G)
	Case 202	no mutation
	Case 203	mutated (exon5, 13051: A→G)

図-2



## 解説

1. ALアミロイドーシス形質細胞をソーティングしp53遺伝子のDNA変異の有無を調べたが、変異は検出できなかった。
2. ALアミロイドーシス形質細胞の恒常的NF-kB活性は極めて高く、正常骨髄形質細胞と同程度であった。組織学的検索では、NF-kB活性(CD54発現)の高い形質細胞は血管から離れて存在していた。
3. 抗NF-kB活性の強い薬剤が治療薬として有用である可能性がある。